

GLOMAC

Global Management of Chuo University



発行・編集 中央大学

<https://www.chuo-u.ac.jp/>

中央大学 国際経営学部事務室

TEL:042-674-4410

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

国際経営学部 Webサイト

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/globalmanagement/>



中央大学受験生ナビ Connect Web

<https://www.chuo-u.ac.jp/connect/>



※本誌に登場する学生の学年は2021年度のものです。

2021年5月発行

2022 Guide Book

国際経営学部

Faculty of Global Management



行動する知性。
中央大学

WHAT KIND OF PLACE IS THE FACULTY OF GLOBAL MANAGEMENT?

国際経営学部って
どんなところ?

CONTENTS

- 04 TEACHERS' VOICE
- 06 UNIQUE LEARNING METHODS
- 08 LEARNING IN SEMINARS
- 10 CURRICULUM
- 12 CAMPUS LIFE MY STYLE
- 14 CAMPUS QUESTIONNAIRE
- 16 ACADEMIC AREA
- 18 FUTURE DREAM
- 19 SCHOLARSHIP STUDENTS
- 20 FACULTY MEMBERS
- 22 MESSAGE



国際社会での活躍や起業、
様々な目標を持った
仲間がいるところ



家族みたいな存在



Try new things,
assess them,
and execute.



Glomac is a bridge that
connects you to your future
career and to the global community.
ドラマヤス、アリヤン、デラロサ助教



Foolishと
Hungryな学部



自分の個性を
活かせる場所!



世界を
見る視野が
広がる場所



The faculty of global
management is a place to
gain knowledge and
experience, and putting
that into action.



やりたいことを応用してい
力を身に付けられるところ



最先端の経営学を
英語で学べる学部

【TEACHERS' VOICE】

国際経営学部で グローバルビジネス リーダーの 「行動する知性」を 獲得せよ

グローバルビジネスリーダーは言語や文化、習慣、価値観といったバウンダリーを超えてビジネスを成立させることができる人材です。バウンダリー・スパンニングという経営学の概念がありますが、国境や組織の「文化の境界線を越える」といった意味です。グローバルビジネスリーダーに必要なこの特徴は次のような行動に現れます。「Buffering、和らげること」、「Reflecting、相手の立場から見ること」、「Connecting、つなげること」、「Mobilizing、結束して一丸となること」、「Weaving、織り合わせること」、「Transforming、変容すること」です。国際経営学部では、国際経営論などのコア科目に加え、異文化経営論などの発展・応用させる科目、1年次の留学や少人数のゼミ、インターンシップといった実践的な学びが体系化されています。それらの学びで、グローバルビジネスリーダーとしての「行動する知性」を獲得することができます。



野間口隆郎 / 国際経営学部 教授

DEVELOP HUMAN RESOURCES

グローバルな 課題の解決に向けて 挑戦しつづける力

グローバル企業、公的機関、非営利団体、起業、専門職など、グローバルビジネスリーダーが活躍する場は多様ですが、共通するのは、それぞれの立場からグローバルな課題の解決に向けて挑戦しつづけることではないでしょうか。日々変化するグローバルビジネスの現場では、多様性や変化を理解して受け入れる柔軟性と想像力、仲間と協力して前進するコミュニケーション力や組織行動力が不可欠です。国際経営学部では、さまざまなバックグラウンドを持つ学生が、互いに認めあいながら切磋琢磨する豊かな時間を通じ、グローバルビジネスに必要な専門知識や教養を学ぶとともに、不可欠な資質を得ることができます。学部生がこの環境を活かし、世界を舞台に挑戦しつづける力を獲得していくよう、わたしたち教職員は全力で応援しています。



国松麻季 / 国際経営学部 教授

国際経営学部から世界へ

体系的なカリキュラムにより
実践知を備えた
グローバルビジネスリーダーを養成。

UNIQUE LEARNING METHODS

中央大学国際経営学部 特有の学習メソッド

徹底した基礎作りから、極め細やかなサポートで知識を付け、
留学や実社会とのつながりで経験値を得る。

授業の7割以上が「外国語」(主に英語) 最先端の経営学を英語で学ぶ

国際経営学部では、設置科目の7割以上が外国語(主に英語)による授業。卒業に必要な単位のすべてを英語による授業で取得することも可能です。また、以下の電子資料をテキストやサブテキストとして活用。海外の最新事情を積極的に取り上げるとともに、英語運用能力の強化を目指します。

- 米国ProQuest社「Ebook Central Academic Complete」
基本学術洋書15万冊を収めたデータベース。
- 日本経済新聞社「Nikkei Asian Review」
アジア各国の政治・経済・マーケット・企業動向などに関する、日本経済新聞社の英訳記事や独自のコラムを掲載。
- フィナンシャルタイムズ「FT.com」
英国の日刊経済紙「Financial Times」の電子版。



国際経営学の基礎を盤石にする 「チュートリアル授業」

専門必修科目のなかでも国際経営学のメインとなる科目では、理解をより深めるために週2回授業が行われます。1回目の授業で英語による通常講義を行った後、2回目にその補習となる「チュートリアル授業」を実施し、日本人学生に対しては、日本語も含めながらフォローアップ。グループディスカッションをはじめとするアクティブ・ラーニング、演習問題などを通じて、専門知識をしっかりと定着させます。

初年次から始まる 全学年必修の演習

初年次の「入門演習」では、PCスキルの向上やメディアリテラシーの向上に加え、経営学や経済学、統計学、地域研究といった教員の専門知識を享受し、学修に対する探究心を刺激していきます。2年生から4年生までは「専門演習」として特定のテーマについて調査・研究を行い、専門性を高めていきます。それぞれの演習は10人程度の少人数クラスとなり、担当教員がアカデミック・アドバイザーとなり、信頼関係も構築します。

全学生が1年次に 海外短期留学を体験

1年生の夏期に3～4週間の海外短期留学を実施。過去には、アメリカ・オーストラリア・アイルランド・マレーシアのプログラムを開講しました。海外の企業活動や文化にふれ、グローバル人材の基礎力として必要な、自己管理能力、異文化適応能力、問題解決能力、コミュニケーション力を養うことを目的として、全学生が必ず参加します。語学研修だけでなく、企業訪問やインターンシップなどのビジネスプログラムも充実しています。

企業への訪問調査

国際経営学部では「Open Your Eyes to Think of Your Own Career」をコンセプトに、学生が企業や公的機関を訪問調査し、社会の入り口部分を学ぶ企画を実施しています。この企画は、社会への関心を高めてもらうことのほか、担当教員の指導のもと、訪問に向けて社会人としての基礎的なマナーを学び、訪問までの準備を通じて段取りを整え、参加者をまとめる経験を積むことを目的としています。

LEARNING IN SEMINARS

TEACHERS AND STUDENTS

先生×学生 | ゼミによって専門性を高め、
実社会で役立つ経験値を積む



徹底的な言語化の訓練、 それが将来への自信につながる

社会に出ると、自分の意見を持ち、それを的確に伝えるコミュニケーション能力が求められます。私のゼミでは、英語で自信をもって自分の意見を言えるようになる、他の人の話を聞いて質問や反論ができるようになることを目標としています。この能力を高めるためにやることは一つしかありません。「練習」です。練習すればうまくなるし、しなければ上達しない。スポーツや音楽と同じです。「意見形成～議論～プレゼンテーション」を繰り返すのが私のゼミの特徴です。ゼミでは「大戸屋は店内調理のこだわりを捨てて効率を追求するべきか」「サントリーが45年間赤字を出し続けたビール事業を継続したのは適切だったか」というような身近なテーマを経営学の理論に照らし合わせながら議論します。

また、学生は実際のプロジェクトを通じて学びます。2020年は「1年生の経営統計の理解を助ける」イベントを企画。実施までのプロセスで仲間と議論を重ね、その試行錯誤からも多くの気づきを得ました。

木村剛 准教授

アメアスポーツジャパン株式会社
セント事業部長、アディダス
ジャパン株式会社戦略企画部
長などを経て現中央大学国際
経営学部准教授兼Malz株式
会社代表取締役社長。



ゼミでは主にPBL (Project Based Learning) というアクティブラーニングの学習をしています。イベントの企画、宣伝、開催までの一連の過程を、話し合いを重ねながら学生自ら取り組み、通常の授業では得られないビジネス経験ができることに大きなやりがいを感じています。木村先生はビジネスパーソンとしてもアドバイスを下さり、社会で活躍する方と接する機会も下さるので、自分の可能性を存分に広げられます。

宮里優花 国際経営学部3年 湘南白百合学園高校(神奈川県) 木村剛ゼミ



実社会と多くの接点を持ちながら、 主体的に学び、チームでやり抜く力を獲得する

私たちのゼミでは、グローバルビジネスと、国際的なルールや各国の法律・政策の関わりに光をあてながら勉強しています。ゼミ生が主体となり、グループワークの積み重ねによってゼミを運営しています。各グループは、関心があるテーマを決めて調査研究を進め、グローバルビジネスの現場で活躍する方々へのインタビュー調査も行いながら結論を導きます。王遠哲さんの牛肉チームのほか、国際空港のビジネスモデルを検討したチーム、法人税の国際比較に切り込んだチーム、オーガニックフードについてアンケート調査を行ったチームもあり、グループのメンバーが協力し、分担しながらそれぞれの手法で課題を掘り下げます。航空業界の方や、財務省の貿易交渉担当の方などへのインタビューは、担当グループが事前学習の主導、当日の進行、1年生からの聴講生のとりまとめも行いました。また、研究のグループワークの他、リーダーグループによるゼミ運営、広報チームによる情報発信、イベントチームによるクリスマスパーティや最終発表会の企画運営などにも、チームワークの力を発揮しています。



ゼミでは、自分が興味のある項目に従ってグループ分けが行われ、同じグループのメンバーと協力して課題を設定し、研究を進めます。また、ゲストスピーカーとして各領域の専門家も招き、貴重な意見を聞きながら、グループメンバーと資料を作成し、プレゼンテーションを行います。こういった経験を通じて、特定の学問分野の専門性を深めることの重要性やチームワークの大切さを学んでいます。

王遠哲 国際経営学部3年 蘭州市十八高等学校(中国) 国松ゼミ



国松麻季 教授

在ジュネーブ国際機関日本政府代表部、経済団体連合会事務局(国際本部)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員などを経て現中央大学国際経営学部教授。

TO BUSINESS LEADER CURRICULUM

専門性を備え、実践知を身につけた、
グローバルビジネスリーダーへ

カリキュラム表	◎ 必須科目	① 日本語による授業	㉔ 中国語による授業
	※ 外国人留学生対象	㉔ 英語による授業	㉔㉔ 英語・中国語による授業

1年次	基 礎 力
	● 経営学入門 ● 経済学入門 ● ミクロ経済学 ● 経営統計入門 ● Global Studies I ● 各国の政治・歴史
2年次	専 門 性
	● グローバルマーケティング論 ● IT戦略論 ● 企業経済学 ● 異文化経営論 ● 数量分析 ● 各国の経済史
3・4年次	実 践 力 × 実 践 知
	● 国際人的資源論 ● 広告表現研究 ● グローバル経営におけるルール形成戦略 ● 国際経済取引と法 ● 各国の経済論 ● ビジネスコミュニケーション論・交渉論

科目群		1 年次		2 年次			3・4年次			
国際経営スタンダード		◎ 経営学入門 ㊦		◎ 国際経営論 ㊦	◎ 戦略経営論 ㊦					
		◎ 経済学入門 ㊦	◎ ミクロ経済学 ㊦	◎ 空間経済学 ㊦	◎ 多国籍企業論 ㊦	◎ 国際開発論 ㊦				
企業経営				比較経営論 ㊦	リスクマネジメント論 ㊦	労働経済学 ㊦	変革マネジメント論 ㊦	国際ロジスティクス論 ㊦	倒産分析論 ㊦	企業法 ㊦
				経営組織論 ㊦㊦	人的資源論 ㊦	アントレプレナール論 ㊦	国際人的資源論 ㊦	国際製品開発論 ㊦	技術経営論 ㊦	特殊講義（現代産業事情）㊦
				ダイバーシティマネジメント論 ㊦	IT 戦略論 ㊦	会計学 ㊦	国際会計論 ㊦	広告表現研究 ㊦	キャッチコピー・ネーミング論 ㊦	
				コーポレート・ガバナンスⅠ ㊦	コーポレート・ガバナンスⅡ ㊦	財務論 ㊦㊦				
				マーケティング論 ㊦㊦	グローバルマーケティング論 ㊦					
グローバル経済				企業経済学 ㊦	金融論 ㊦	地方創生マネジメント論 ㊦	産業組織論 ㊦	国際金融論 ㊦	国際貿易政策論 ㊦	グローバル化と情報法 ㊦
				国際協力 ㊦	NGO/NPO 論 ㊦		産業クラスター論 ㊦	公共人的資源管理論 ㊦	国際直接投資論 ㊦	国際経済取引と法 ㊦
				国際経済学 ㊦	公共経営論 ㊦		実験経済学 ㊦	比較金融システム論 ㊦	国際経営立地論 ㊦	グローバル時代の競争法 ㊦
							公共政策論 ㊦		グローバル経営におけるルール形成戦略 ㊦	
国際地域研究		◎ 経済地理学 ㊦	異文化経営論 ㊦	日本的経営論 ㊦		社会調査法 ㊦	地域開発論 ㊦			
	日本・中国・アジア地域	日本の政治・歴史 ㊦	中国の政治・歴史 ㊦㊦	日本の経済史 ㊦	中国の経済史 ㊦		日本経済論 ㊦	中国経済論 ㊦	中国政治社会論 ㊦㊦	アジア経済論 ㊦
			アジアの政治・歴史 ㊦		アジアの経済史 ㊦		日本企業論 ㊦	中国企業論 ㊦		ヨーロッパ産業論 ㊦
	欧州・米国・中南米地域	欧米の政治・歴史 ㊦	中南米の政治・歴史 ㊦	ヨーロッパの経済史 ㊦	中南米の経済史 ㊦		アメリカ経済論 ㊦	ヨーロッパ経済論 ㊦	中南米経済論 ㊦	アジア経営論 ㊦
情報統計		◎ 経営統計入門 ㊦	経営数学入門 ㊦	経営数 ㊦	計量経済学入門 ㊦㊦		応用統計学 ㊦			
			データ分析 ㊦	数量分析 ㊦	情報科学 ㊦		データベース ㊦			
基礎教養		哲学 ㊦	歴史学 ㊦㊦	社会学 ㊦	政治学 ㊦	数学 ㊦㊦	生物学 ㊦	健康スポーツⅠ ㊦	健康の科学 ㊦	
		宗教学 ㊦	倫理学 ㊦	法学 ㊦	環境学 ㊦	データサイエンス ㊦㊦	化学 ㊦	健康スポーツⅡ ㊦		
グローバル人材	外国語	◎ アカデミック英語Ⅰ ㊦	◎ アカデミック英語Ⅱ ㊦	◎ アカデミック英語Ⅲ ㊦	◎ アカデミック英語Ⅳ ㊦		アドバンスト英語 ㊦			
		中国語Ⅰ・Ⅱ ㊦	スペイン語Ⅰ・Ⅱ ㊦㊦	中国語Ⅲ・Ⅳ ㊦	スペイン語Ⅲ・Ⅳ ㊦㊦					
		日本語Ⅰ～Ⅳ ※ ㊦	日本語ⅡⅠ・Ⅱ ※ ㊦	日本語ⅡⅢ・Ⅳ ※ ㊦㊦						
	コミュニケーションスキル	Adaptive LearningⅠ～Ⅲ ㊦								
							英語ビジネスコミュニケーション論 ㊦	英語ビジネス交渉論 ㊦	スペイン語ビジネスコミュニケーション論 ㊦	スペイン語ビジネス交渉論 ㊦
							中国語ビジネスコミュニケーション論 ㊦	中国語ビジネス交渉論 ㊦	日本語ビジネスコミュニケーション論 ※ ㊦	日本語ビジネス交渉論 ※ ㊦
		◎ Global StudiesⅠ ㊦	◎ Global StudiesⅡ ㊦	◎ Global StudiesⅢ ㊦						
		Field StudiesⅠ～Ⅲ ㊦㊦		インターンシップⅠ インターンシップⅡ						
		ビジネスコミュニケーション ㊦	日本事情 ※ ㊦			ATC21s (Assessment and Teaching of 21st Century Skills) ㊦				
演習		◎ 入門演習 ㊦㊦			専門演習Ⅰ ㊦㊦	◎ 専門演習Ⅱ ㊦㊦	◎ 専門演習Ⅲ ㊦㊦	◎ 専門演習Ⅳ ㊦㊦	◎ 専門演習Ⅴ・卒業論文 ㊦㊦	

外国語による授業については、より正確に深く理解するため、日本語で補足する場合があります

CAMPUS LIFE MY STYLE

【STUDENTS' VOICE】
キャンパスライフ
1日のスケジュールと過ごし方



ロ・ジンイン
国際経営学部3年
SMJK Perempuan Perak High School (Malaysia)



松村 岳
国際経営学部3年
明星高等学校 (東京都)

TIME SCHEDULE

- 09:00 朝食
- 10:50 授業開始 (2限から)
- 12:30 学食でランチ
- 15:00 授業終了
- 15:30 ラウンジで課題
友達と話す
- 17:00 アルバイト
- 22:00 翌日の授業準備
- 24:00 自由時間
- 01:30 就寝

「家族のような温かさ」

国際経営学部は新しい学部なので、使用できる施設も綺麗で清潔感があり、集中して勉強するには最適な環境だと思っています。例えば、4号館のアカデミックエリアは国際経営学部生専用の施設です。静かに勉強したいときや、友達と話したいときなどで部屋を使い分けて、充実したキャンパスライフを送ることができます。キャンパス内にスターバックスもあるので、疲れた時や朝から授業があるときは、この場所でコーヒー飲むのも、お気に入りの過ごし方です。先生方や事務室の方々との距離も近く、よくサポートしてくださるので、大変なことがあっても、いつも家族のような温かさを感じて過ごすことができます。Are you ready to join this family?

	MON	TUE	WED	THU	FRI
① 9:00～10:40					
② 10:50～12:30	異文化経営論	マーケティング論		経営組織論	空間経済学
③ 13:20～15:00		アカデミック英語			宗教学
④ 15:10～16:50					数量分析
⑤ 17:00～18:40	国際経営論	コーポレート・ガバナンス	アカデミック英語Ⅲ	国際経営論	
⑥ 18:50～20:30					

国際経営学部には学生一人一人の挑戦を応援し、キャンパスライフを素晴らしいものにする様々な設備が整っています。親身になって指導して下さる教授陣や事務室の方々のサポートはもちろん、その時々用途に応じて利用できる専用ラウンジや自習室、充実した学部独自の奨学金など、夢に向かって大きく羽ばたこうとする学生を全面的に支援してくれます。一人で課題に取り組みたいときには自習室へ、友人と談笑したいときにはラウンジ、グループワークには各教室といったように、キャンパス内の様々な施設を用途に合わせて利用できる点が特に気に入っています。国際経営学部の充実した環境を最大限に活用して、皆さんそれぞれのキャンパスライフを見つけてみませんか。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
① 9:00～10:40					
② 10:50～12:30	労働経済学	戦略経営論		環境学	
③ 13:20～15:00		アカデミック英語Ⅳ		特殊講義 A	
④ 15:10～16:50				多国籍企業論	国際開発論
⑤ 17:00～18:40			アカデミック英語Ⅳ	専門演習Ⅰ	グローバルマーケティング論
⑥ 18:50～20:30					グローバルマーケティング論

「挑戦できる環境」

TIME SCHEDULE

- 08:30 登校
- 09:00 自習室でレポート作成
- 10:50 授業
- 12:30 学食でランチ
- 13:20 授業
- 15:00 ビジネスコンテストに向けてミーティング
- 19:00 友人と共に夕食
- 21:00 帰宅後、自習
- 24:00 就寝

【STUDENTS' VOICE】

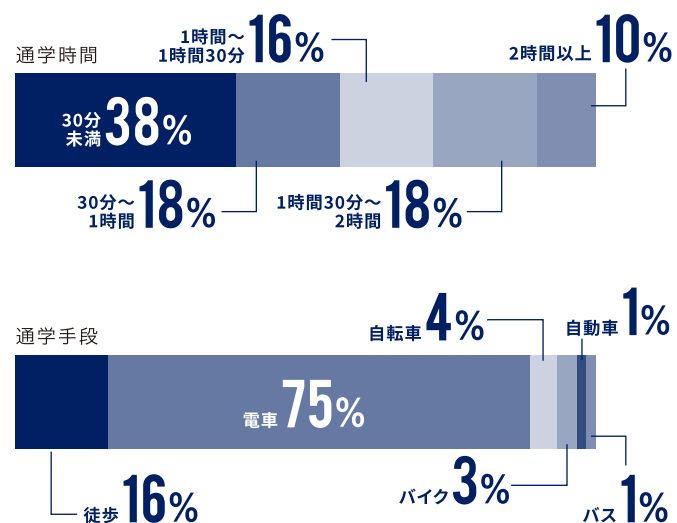
CUMBUS QUESTIONNAIRE

キャリアについて

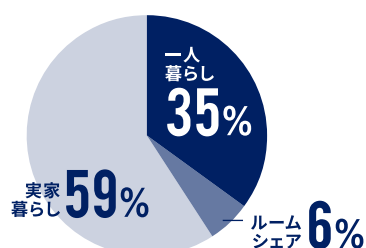
在学生が希望する進路ランキングTOP10

- 1位 商社
- 2位 金融・保険
- 3位 通信・情報サービス
- 4位 旅行・生活関連
- 4位 NPO・NGO
- 6位 大学院進学
- 7位 航空会社
- 7位 不動産・リース
- 9位 メーカー
- 10位 教育・学習支援

■通学について



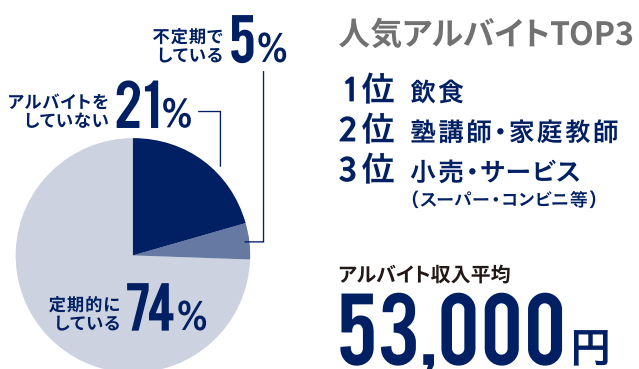
■住居形態について



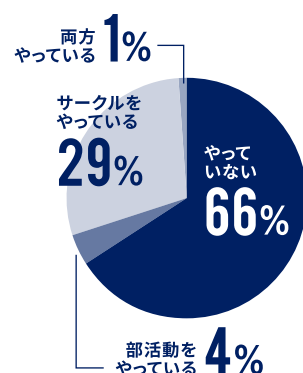
■一人暮らしの家賃と生活費について

家賃平均 **58,000 円** 生活費支出平均 **41,000 円**

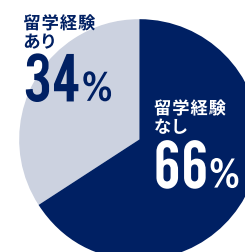
■アルバイトについて



■サークルや部活動をしていますか



大学入学までに留学経験はありましたか



アンケートでは6割以上の学生が留学経験がないと回答。7割以上の授業が英語で行われる環境で、留学経験のない二人はどうやって乗り越えてきたのか。

内田: 最初は英語で行われる授業にハードルを感じていましたが、英語の説明の後に日本語でもフォローしてくれるので、分からないことはそこで解決。また、先生が授業後も残ってサポートしてくれます。
東野: もちろん、自分自身で行動することが大切。わからないことがあったら自分からアクションを起こすことが大切だと思います。

半年たった頃に英語力の向上を実感

東野: 1年生の夏休みにアメリカへ短期留学に行きました。そこから、英語を読むスピードが速くなってきているのを感じようになりました。
内田: 半年くらい経つと耳も慣れてきて、授業で使われる専門的な言葉を知るにつれて、授業の内容がわかるようになってきましたね。

重要な活動に優先順位をつける

内田: 僕は通学に往復4時間かかるので、それが大変でした(笑)。でも、その通学時間を使ってプレゼン資料の作成やレポートを作るなど隙間時間を活用しました。
東野: 私は重要な活動に対して優先順位をつけて、バランスをとるようにしました。例えば、まずは睡眠を絶対6時間とるところから逆算して、スケジュールを組み立てていました(笑)。ほかにも、ラウンジに行って友達と課題をやったり、お互いに助け合いながらここまでなんとかやってきました。

問題を乗り越え身についてきた力

内田: この学部に入って、英語の必要性を身に染みて感じています。日本で暮らしていると、英語が必要だと思う機会がないのですが、日本語が全くできない友達もできて、英語の大切さを痛感しています。僕はそれが今の学習のモチベーションになっています。
東野: 英語力や専門知識の向上だけでなく、異なる背景を持つ人々と積極的に関わることも大事だと思います。この学部に入って、多様性を理解することや寛容であることなど、人間的な成長ができた実感しています。

東野真依 /
国際経営学部3年
大阪桐蔭高等学校(大阪府)

内田 彪 /
国際経営学部3年
東洋高等学校(東京都)



アカデミックターミナル



スタディールーム



アカデミックサポートセンター



ラウンジ



コモンズ



グローバル館

ACADEMIC AREA

学修サポート

国際経営学部では、
学生が有意義な
大学生活を送れるよう、
快適かつ機能的な
学修環境
「アカデミックエリア」を
整えています。



FOREST GATEWAY CHUO



FOREST GATEWAY CHUO



FOREST GATEWAY CHUO

アカデミックターミナル

明るい照明に大きな机。テキストや資料を広げて学生同士でのグループディスカッションに最適な空間です。また、ヒューマンネットワークを広げる場としても機能し、教員も一緒に活発に交流するなど、多目的に利用できます。

スタディールーム

授業の予習や復習、レポート作成やプレゼンの準備など、大学では個々が集中して取り組む作業もたくさん。自習室を上手に利用することで学習のリズムを作りましょう。

アカデミックサポートセンター

(通称:ASC「アस्क」)

国際経営学部での学習の基礎となる経営学や経済学、英語といった正課授業と連携したプログラムを提供し、学習意欲の喚起、学びの定着を支援していきます。授業への不安の解消、中長期留学の対策、異文化交流など、様々な学生からの相談に対応していきます。

ラウンジ

時には勉強を離れ、コーヒーを片手にラウンジへ。まるで海外の大学を思わせる落ち着いた空間で、友人たちと語り合える場です。電源コンセントも各所にあり、パソコンを使ってゆっくり調べものをすることもできます。

コモンズ

2種類の照明と自由にレイアウト可能な机により、ゼミ活動がしやすいコモンズ。窓からの眺望もよく、会話を楽しみながらグループワークができます。

グローバル館 (Global Gateway Chuo)

グローバルな教育研究を行う〈グローバル館〉と、オンキャンパスで教育と生活が融合する〈国際教育寮〉にて日本人学生と留学生が交流を促進、国際通用性を身に付ける施設となります。

FOREST GATEWAY CHUO

学部横断的な学びを象徴する新たな教育研究施設。ダイバーシティ・グローバルゾーンの中核として学生同士の交流を促すと同時に、あらゆる「知」が集合・発信される空間として機能します。



FUTURE DREAM

新学部ゆえの躍動感とグローバルなカリキュラムを求めて

占部裕也 / 国際経営学部2年
Taradale High School (New Zealand)

将来の夢と国際経営学部での学び

ニュージーランドの高校に留学し、多様な考えを学ぶ過程で、将来は日本と海外をつなぐ仕事をしたいと考えようになりました。この学部では、設置科目の7割以上が外国語(主に英語)による授業となっており、最先端の経営学を英語で学ぶことができます。例えば、経営統計学は世界共通のコミュニケーションツールと言われていますが、論理的なマーケティング戦略を思考する上で必要不可欠な経営統計に関して、R言語を駆使した統計解析の手法を基礎から応用まで全て英語で学びます。将来、英語で経営戦略を協議する場を想定すれば、英語での学びは大変役立っていると実感しています。

今後の計画

私が今最も関心を持っているのは、カーボンゼロの未来社会です。化石燃料と内燃機関が新エネルギーと電動化に置き換わるとき、日本にとっても大改革を迫られますが、その時には、日本人として責任ある仕事を成し遂げたいという夢を持っています。そのために、英語の高い運用能力と専門知識、コミュニケーション能力にさらに磨きかけることをこの学部の学びで実現し、夢への第一歩にしたいと考えています。

グローバルな社会で活躍する人材になるために

チェ・スヒ / 国際経営学部3年
星福高等学校(韓国)

将来の夢と国際経営学部での学び

私は将来、グローバルに展開する広告関連企業で働きたいという夢を持っています。グローバルな社会で活躍するためには、語学力やコミュニケーション能力、ビジネスの専門知識が重要になると考えていますが、国際経営学部はまさにそういった力が身につく環境だと思います。特に、この学部に入学してから成長したと実感するのは語学力です。ただ英語を学ぶだけでなく、経営学や経済学、統計学などの専門科目の授業も英語で受けているので、より実践的な語学運用能力の向上を実感できています。2年次には、マーケティング論の授業を英語で受けましたが、その時に学んだ海外企業の多様なマーケティング戦略は、社会に出てからも役立つ実践知であると感じています。

今後の計画

日本語能力試験やTOEICの勉強、また、学生だからこそできる様々な経験を積んでいきたいと思っています。例えば、広告やマーケティングに関連する授業を履修すること、映像制作などのクリエイティブな活動、インターンシップ、アルバイトなどです。こういった経験を通して、世界を見る自分の視野が広がっていくものと確信しています。



学びの成果を自信に、社会貢献活動と将来のキャリアにつなぐ

宮本郁実 / 国際経営学部3年
関東学院六浦中学校・高等学校(神奈川県)

SCHOLARSHIP STUDENTS

私は学長賞給付奨学金を主に学費として活用しました。この奨学金によって、これまで学費の足しにするためにしていたアルバイトの時間を節約することができたため、その時間を学業や課外活動に充てることができました。また、本奨学金を受賞できたことが自分の自信に繋がり、新たな挑戦に向かう背中を押してくれました。これまで女性の人権やSRHRに関心がありましたが、具体的に何かアクションは起こせずにいました。しかし学長賞奨学生になったことをきっかけに「自分ならできる」と前向きに考えられるように

なり、この問題への取り組みを行う国際NGOのプロジェクトにピア・アクティビストとして参加する決意を固め、現在も一員として活動しています。加えて企業訪問の企画・運営活動を通して、学内のみならず社会とのつながりを感じることができ、将来のキャリア形成について深く考えるきっかけとなりました。将来的にはNGOでの活動やゼミでの持続的開発に関する研究成果を活かし、社会貢献活動に関する仕事をしたいと考えています。

学業成績優秀者向けの奨学金、学外活動を応援する奨学金、海外留学を支援する奨学金

名称	給付金額	募集人数	対象
学長賞・学部長賞 給付奨学金	学長賞 約47万円 (授業料の1/2相当額)	1名	国際経営学部の2～4年次に在学し、 学業成績・人物共に優秀な学生
	学部長賞 約23万円 (授業料の1/4相当額)	4名	
「アクティブステューデント」 応援奨学金	30万円	5名程度	国際経営学部在学し、意欲的な学術活動計画を立てることができ、実行することが期待される者
長期留学・ 海外インターンシップ チャレンジ奨学金	1年：40万円 半年：20万円	5～10名程度 ※合計	留学：本学の制度による長期留学(交換留学・認定留学)決定者 海外インターンシップ：国際経営学部の2年次以上に在学し、海外の企業、公的機関等に長期間インターンシップを行い、本奨学金の目的にふさわしい実績を挙げることが期待される者

学費

(単位：円)

項目 学部	学 費				諸会費		入学手続時 納入金	入学後納入額 (後期分)	初年度納入額 合計
	入学金	授業料	実験実習料	施設設備費	父母連絡会費	学友会費			
国際経営学部	240,000	943,600	50,000	216,400	5,000	10,000	860,000	605,000	1,465,000

学部	2年次	3年次	4年次
国際経営学部	1,225,000	1,225,000	1,245,000

注1：入学金は2年目以降納入する必要はありません。注2：諸会費のうち父母連絡会費は、複数子女が在籍した場合には、申請により1名分を除いて返還します。また、外国人留学生入試による入学者は納入する必要はありません。注3：4年次納入金額には学員会費(20,000円)が含まれます。注4：学費および学費の取扱いは今後変更される場合があります。

教員紹介

学びを通して成長と将来の可能性を実感してください

国際経営学部
Webサイト

「教員紹介」
はこちら→



FACULTY MEMBERS



IIDA Asako

飯田 朝子 教授

研究分野: 商業言語学
担当科目: 広告表現研究、
キャッチコピー・ネーミング論



KAWAI Hisashi

河合 久 教授

研究分野: 会計情報システム
担当科目: 管理会計論



KIMURA Yuri

木村 有里 教授

研究分野: 国際経営
担当科目: 経営学入門、経営組織論、異文化経営論、アジア経営論



KUNIMATSU Maki

国松 麻季 教授

研究分野: 国際経済法、対外経済政策
担当科目: グローバル時代の競争法、国際経済取引と法、グローバル経営におけるルール形成戦略



YAMADA Yasutoshi

山田 恭稔 教授

研究分野: 地域研究(東南アジア研究)、社会学
担当科目: 社会学、NGO/NPO論、社会調査法、アジアの政治・歴史、社会調査法



YUTANI Hiroshi

油谷 博司 教授

研究分野: 金融、ファイナンス
担当科目: 金融論、アジア経済論、ヨーロッパ経済論



OTSUBO Hiroyuki

大坪 弘教 准教授

研究分野: 実験経済学
担当科目: 経営数学入門、経営数学



KIMURA Tsuyoshi

木村 剛 准教授

研究分野: 戦略経営、組織変革、組織開発
担当科目: 経営学入門、戦略経営論、日本の経営論、企業研究、多国籍企業論



SAKIKAWA Takashi

咲川 孝 教授

研究分野: 経営学
担当科目: 経営学入門、国際経営論、多国籍企業論



SHEN Shuzi

申 淑子 教授

研究分野: 国際経営
担当科目: 比較経営論、中国語ビジネスコミュニケーション論・交渉論



TAKAHASHI Ichiro

高橋 一郎 教授

研究分野: 理論経済学、マクロ経済学、人工マクロ経済学
担当科目: 数量分析、経済学入門、ミクロ経済学



TABUCHI Takatoshi

田淵 隆俊 教授

研究分野: 空間経済学、都市経済学
担当科目: 空間経済学



SINGH, Mahendra

シング, マヘンデラ 准教授

研究分野: 経営戦略、IT戦略、国際経営
担当科目: 経営学入門、国際経営論



CHANG Yonglin

張 用振 准教授

研究分野: 公共管理
担当科目: 公共経営論、公共政策論、公共人的資源管理論



NAKAMURA Daisuke

中村 大輔 准教授

研究分野: 理論経済学、経済政策
担当科目: 経済学入門、ミクロ経済学、国際経営立地論、経済地理学



YANG Chun

楊 川 准教授

研究分野: 理論経済学・応用経済学
担当科目: 計量経済学入門



CHEN Jianan

陳 建安 教授

研究分野: 国際経済学、国際直接投資
担当科目: 国際貿易政策論、国際直接投資論



TORII Akio

鳥居 昭夫 教授

研究分野: 経済政策
担当科目: 企業経済学、産業組織論



NAKASAKO Shun-itsu

中迫 俊逸 教授

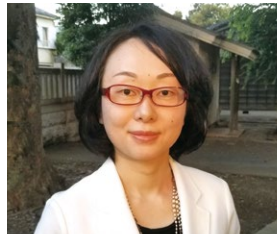
研究分野: ビジネス交渉、ビジネスコミュニケーション、異文化経営
担当科目: 英語ビジネスコミュニケーション論、英語ビジネス交渉論、Global Studies I



NAKANO Junji

中野 純司 教授

研究分野: 統計学
担当科目: データサイエンス、経営統計入門、データ分析、応用統計学



KURITA Noriko

倉田 紀子 助教

研究分野: 地方自治、公共政策、社会コミュニケーション
担当科目: 経営学入門、国際経営論



JIANG Yingling

姜 英英 助教

研究分野: 商学、金融・ファイナンス、経済史
担当科目: 経営学入門、中国の経済史、国際金融論、日本の経済史



DUMAYAS, Arienne DelaRosa

ドゥマヤス, アリヤン
デラロサ 助教

研究分野: 開発経済学、地域経済学、空間経済学
担当科目: 国際開発論、国際協力論、地域開発論



WALDENBERGER, Franz

ヴァルデンベルガー,
フランツ 特任教授

研究分野: 日本経済学、コーポレートガバナンス、国際人的資源管理
担当科目: コーポレート・ガバナンス I・II、ヨーロッパ産業論



NAKAMURA Jun

中村 潤 教授

研究分野: 認知科学、知能情報学、技術経営
担当科目: グローバルマーケティング論、技術経営論



NOMAKUCHI Takeo

野間口 隆郎 教授

研究分野: 戦略経営論
担当科目: 経営学入門、戦略経営論、IT戦略論、変革マネジメント論



FUKUMACHI Hideo

深町 英夫 教授

研究分野: 中国政治史、アジア太平洋国際関係
担当科目: 歴史学、中国の政治・歴史、中国政治社会論



HORI Mayumi

堀 真由美 教授

研究分野: テレワーク、女性労働、キャリア教育、ダイバーシティマネジメント
担当科目: ダイバーシティマネジメント論、Global Studies、ビジネスコミュニケーション、ATC21s



HELLER, Daniel Arturo

ヘラー, ダニエル
アウトウーロ 特任教授

研究分野: 戦略的提携、組織間学習、製品開発のマネジメント、自動車産業
担当科目: 経営学入門、戦略経営論、日本の経営論



GORHAM, Jon

ゴーラム, ジョン 特任助教

研究分野: 教育における機械学習
担当科目: アカデミック英語、Adaptive Learning



GOMMERNAN, Robert Bradley

ゴーママン, ロバート
ブラッドリー 特任助教

研究分野: 異文化ビジネス研究、教育学
担当科目: アカデミック英語、Adaptive Learning



WANG Lingling

王 玲玲 助教

研究分野: 地域経済学
担当科目:

先輩との
距離が近い!

共に挑戦する
仲間がいること

学部を自分たちで
作りあげている
実感が湧くこと

信頼できる
仲間に出会ったこと

MESSAGE

異なる価値観を
共有できる仲間達に
出会えたこと!!!

世界的なビジネスの
仕組みが学べた

Place where we
inspire each
other to improve!

語学運用能力と
経営の専門知識を
同時に獲得できる

第一線で活躍する☆
「実務家」による
実践的な学び!

WHAT IS THE
BEST THING ABOUT
ENROLLING IN GLOMAC

入学して良かったこと

全授業を英語で行い、
英語力が向上した。